2024年度事業計画及び予算

【キーパーソン 21 の活動目的】

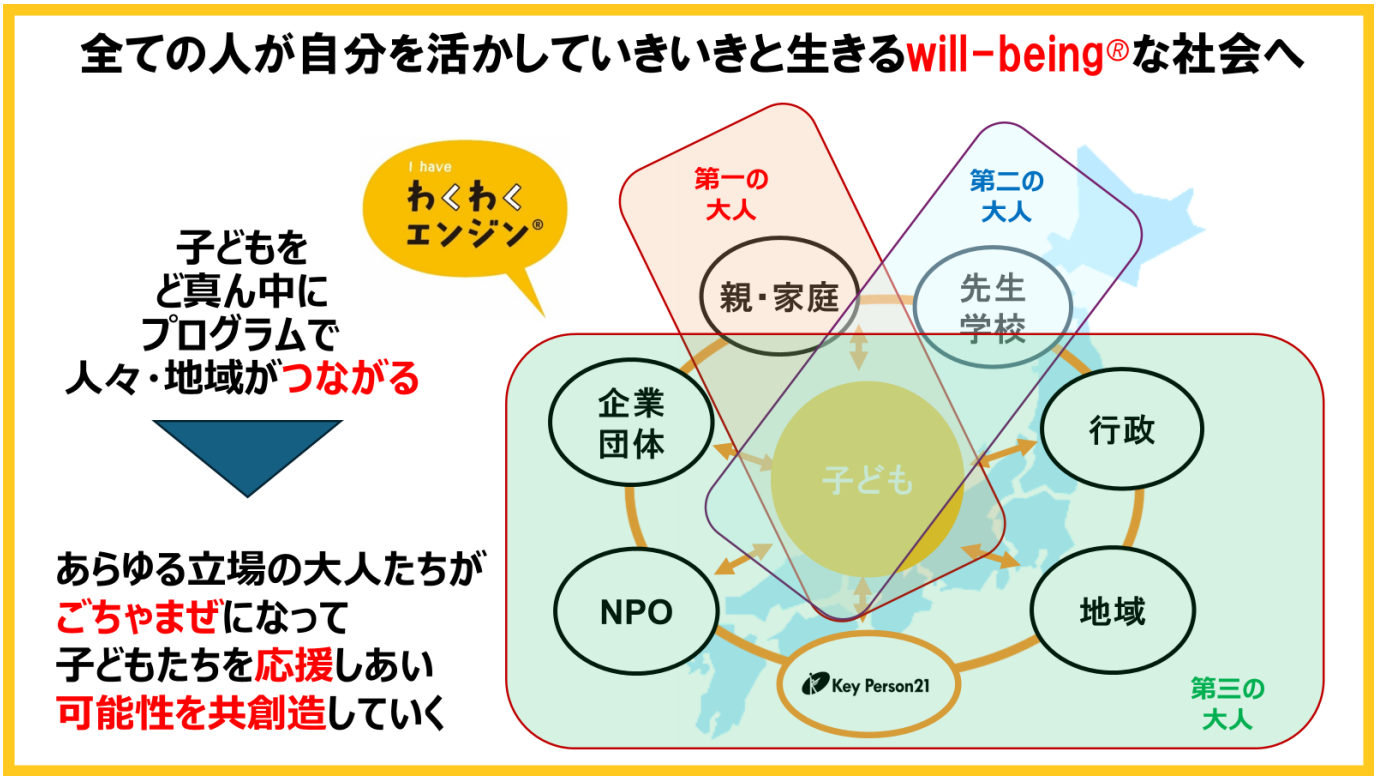
キーパーソン 21 は、一人ひとりの中にある、誰もが必ず持っている動き出さずにいられない原動力「わくわくエンジン®」を大切にする。主に子どもや若者に対して、自分を活かしていきいきと生きることができるよう、対話しながら原動力を引き出し、一歩踏み出し自分発で行動することを応援する。世代や地域、立場を越えて、あらゆる人たちがごちゃまぜになり、わくわくしながら学び育ち合う社会を共創造することを目指す。

【2024 年度活動方針】

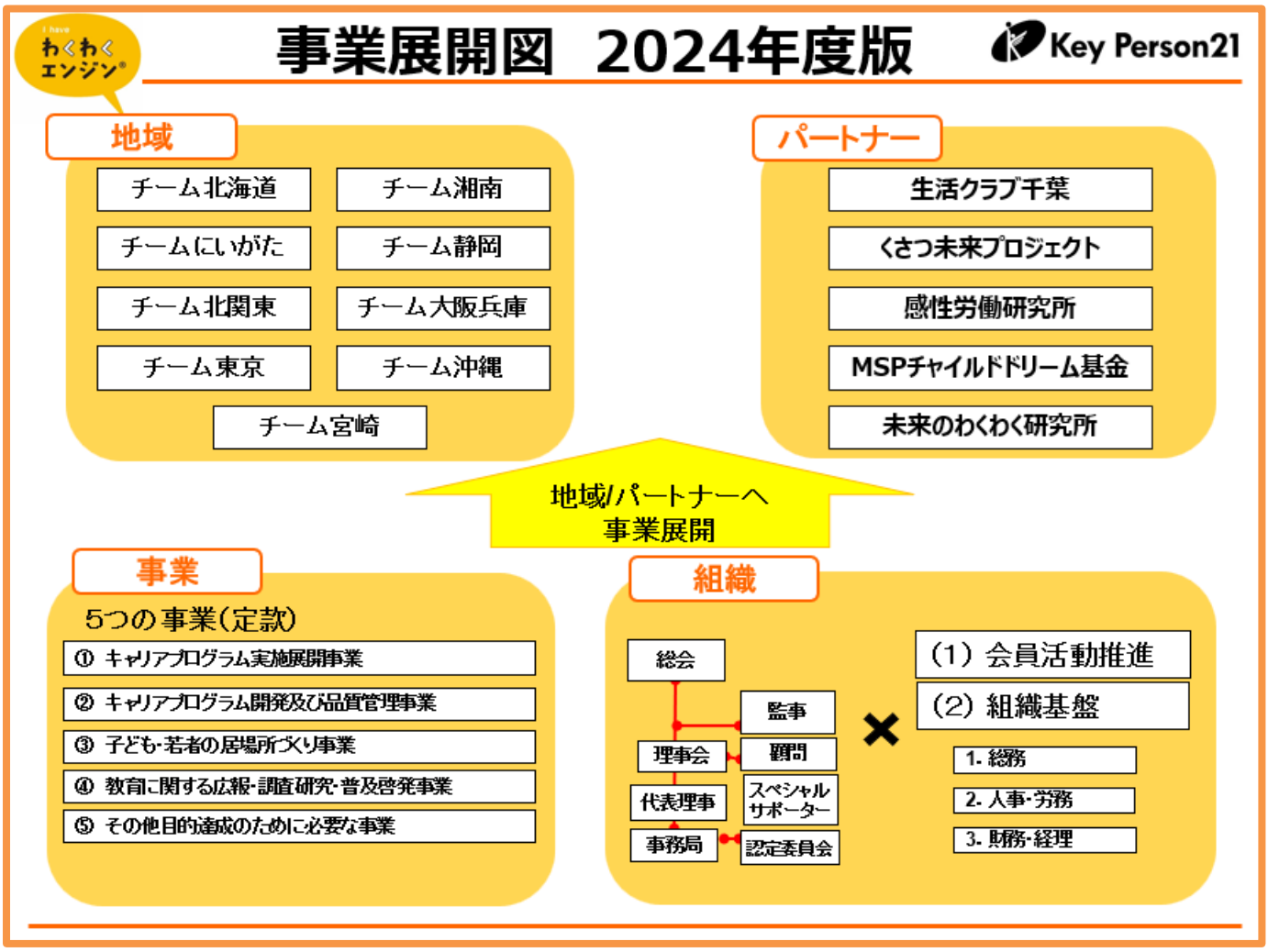
1．家庭教育、学校教育、社会教育に更に力を注ぐ
2．可能性を共創造する地域社会をめざして普及活動を行う
3．キーパーソン 21 の中核である会員の活動を推進する

【2024 年度の重点施策】

1．会員一人ひとりが「わくわくエンジン®」を活かして活動する創発の場をつくる
2．子どもたちの「やってみたい」を応援するしくみを創る
3．地域のネットワークづくりを強化し、多様な立場から応援する大人を増やす



【事業展開図】


わくわくエンジン
事業展開図　2024年度版
Key Person21
地域
チーム北海道
チーム湘南
チームにいがた
チーム静岡
チーム北関東
チーム大阪兵庫
チーム東京
チーム沖縄
チーム宮崎
パートナー
生活クラブ千葉
くさつ未来プロジェクト
感性労働研究所
MSPチャイルドドリーム基金
未来のわくわく研究所
地域/パートナーへ
事業展開
事業
5つの事業(定款)
① キャリアプログラム実施展開事業
② キャリアプログラム開発及び品質管理事業
③ 子ども・若者の居場所づくり事業
④ 教育に関する広報・調査研究・普及啓発事業
⑤ その他目的達成のために必要な事業
組織
総会
監事
理事会
顧問
代表理事
スペシャルサポーター
事務局
認定委員会
×
(1) 会員活動推進
(2) 組織基盤
1. 総務
2. 人事・労務
3. 財務・経理

2024 年事業計画　目次

【キーパーソン 21 の活動目的】
【2024 年活動方針】
【2024 年の重点施策】
【事業部門】
（１）特定非営利活動に係る事業
　　1．キャリアプログラム実施展開事業
　　1-1. 家庭教育
　　1-2. 学校教育
　　1-3. 社会教育

　　2．キャリアプログラム開発及び品質管理事業
　　2-1. プログラム開発
　　2-2. 品質管理
　　2-3. プログラムのわくわくナビゲーター養成講座・研修
　　2-4. プログラムのわくわくナビゲーターを養成する講師の育成
　　2-5. パートナーとの連携

　　3．子ども・若者の居場所づくり事業
　　3-1. 学習支援・居場所づくり事業（中原わくわく学習会「なかわく」通称）（川崎市）
　　3-2. 学習支援・居場所づくり事業（小杉わくわく学習会「こすわく」通称）（川崎市）
　　3-3. 寺子屋（川崎市）

　　4．教育に関する広報・調査研究・普及啓発事業
　　4-1. 講演/セミナー/研修
　　4-2. 企業や地域のネットワークづくり
　　4-3. 広報

（２）その他の事業
　　1．寄贈品、グッズなどの物品販売
　　2．著作、出版物の制作・販売
　　3．会員のサークル活動支援事業

【管理部門】
（１）会員活動推進
（２）組織基盤
　　1．総務
　　2．人事・労務
　　3．財務・経理
【2024 年活動方針】
【2024 年の重点施策】
2024 年度活動予算書

【事業部門】

（１） 特定非営利活動に係る事業

１．キャリアプログラム実施展開事業

収益 9,597　　費用 9,555（事業費 6,218　管理費 3,337）（単位：千円）

■24 年度のテーマ
家庭教育、学校教育、社会教育におけるそれぞれの特徴や意義を明確に認識し、力を注ぐ

■24 年度の目標
・家庭教育では、親子を対象に、「わくわくエンジン®」を発見し、日常生活に落とし込めるような学びと成長の機会を提供し応援する。
・学校教育では、それぞれの学校が取り組みたいテーマ、カリキュラムに沿って持続的に展開できるよう応援する。

・社会教育では、「一人ひとりの子どもたちが主体的に行動できるように」地域の企業、団体等と協働し、多様な大人たちと共に応援するモデルを創る。

１-1. 家庭教育

（文部科学省による定義：親やこれに準ずる人が子どもに対して行う教育。すべての教育の出発点であり、家庭は常に子どの心のよりどころとなるもの）

■活動項目
◆親子向けプログラム実施
―親子参加型プログラム実施
―親子参加型オンラインプログラム実施（「オンラインですきなものビンゴ」通年と夏休み）
◆「わくわくエンジン®」発見後の活用サポートプログラム（「わくわくエンジン®活用倶楽部」を開催）

１-2. 学校教育

（文部科学省による定義：法律に定める学校：小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校、および幼稚園をいう）

■活動項目
◆「探究」をテーマとして授業内での実施
◆「地域」を巻き込んだ取り組み実施（「コミュニティスクール」や「PTA」、「地域学校協働本部」等との連携）
◆「企業」を巻き込んだ取り組みを全国各地において実施（「企業の子ども応援プロジェクト」）

１-3. 社会教育

（文部科学省による定義：学校の教育課程として行われる教育活動を除いたもの。主として、青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動）

■活動項目

◆地元企業や団体との協働事業としての実施

学校の枠を超えた地域の場所において、子どもたちの「やってみたい」を引き出し、応援する事業を企業や地域と共に行う。「わくわくエンジン®EXPO」発表までを含めたモデルづくり。

・川崎地域におけるサントリーホールディングス株式会社と協働（@サントリー商品開発センター）
・関西地域における「やってみたいをやってみる」の発表（@茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」）

◆第三の居場所における実施

・「認定 NPO 法人フリースペースたまりば」（川崎市）
・学習支援・居場所「なかわく」「こすわく」（川崎市）
・フリースクール「NPO 法人寺子屋方丈舎」（福島県会津若松市）

【事務局実施】

・川崎市立川崎中学校川崎市立久本小学校、川崎市立新城小学校などの公立学校において企業と協働で取り組む(JFE エンジニアリング株式会社、株式会社エヌアセット、株式会社シーエスデー、ジェクト株式会社)
・東京都渋谷区立中学校における「シブヤ未来科」＝「探究」プロジェクト事例づくり（カシオ計算機株式会社）
・東京都立狛江高校における探究わくわくプロジェクト（高校生わくナビ）
・東京都江東区立有明小学校／有明西学園での有明プロジェクト 8 年目（地域学校協働本部）
・私立かえつ有明中学校 1 年生での保護者および有明サポーターとの取り組み

【地域チーム】

2024 年度、全 8 チームでスタート。新チーム宮崎が発足予定で 9 チームとなる。

地域チーム	2024 年度計画
チーム北海道	中長期の関係性がつくれる、地域施設、居場所等での実施を中心に計画。
チームにいがた	昨年度好評だった教職員研修を継続。事務局との協働プロジェクトで、内容をさらにアップデートし、新潟市内教員の理解を促進する。合わせて新潟市コンソーシアム 3 年目、地域での信頼を重ねながら、これまでの実施校との関係継続。プログラムサポーターを増やす計画（養成講座の開催、地域サポーターの誕生を目指す）。
チーム北関東	自由学園プロジェクトの継続、学園内でのキャリアの授業との連携を強化。各メンバーとの連携を深めるため定期ミーティング開催。
チーム東京	これまでの実施校との関係継続。会員居住地域での実施（学校、親子イベント）の推進。プロジェクトマネージャーを担当できるメンバーを増やす。
チーム湘南	これまでの実施校との関係継続。昨年度に引き続き、地域サポーターと連携したプロジェクト（横浜市立笹下中学校）を実行する。引き続きチームメンバー内のプログラムの理解促進と関係性の強化を行う。
チーム静岡	信頼が繋がり、実施現場が確実に増えているため、なおいっそうのチームメンバーの連携強化、情報共有の機会を持てるようにする。新規チームメンバー獲得のための説明会も

	行い、養成講座開催に繋げる。会員だけでなく、地域の大人、保護者（PTA 等）を巻き込んだプロジェクトの機会も創出する。企業連携、助成金等の獲得も目指す。
チーム大阪兵庫	引き続きやりたい人がプロジェクトマネージャーをできるような体制をつくる。地域サポーターや、地元企業を巻き込むプロジェクトを増やす。プログラム実施後の子どもたちの変化変容を追い、発表事例をつくる。
チーム沖縄	各地域施設へのアプローチを増やし、居場所等での実施現場を増やす。チームメンバー内の連携の強化とともに、さらに稼働メンバーを増やせるよう、沖縄県内の認知拡大のチャンス（講演会等）を目指す。
チーム宮崎（予定）	宮崎にて養成講座の開催を計画。宮崎での認知拡大の機会（講演会等）を目指す。

2．キャリアプログラム開発及び品質管理事業

収益 2,487　　費用 2,476（事業 1,611　管理 865）　（単位：千円）

■24 年度のテーマ
　プログラムで学んだことを自分の人生に活かす。

■24 年度の目標
・プログラムを日常に活かせるようにする。
・「わくわくエンジン®」の発見にとどまらず、子どもたちの「やってみたい」を応援し、一人ひとりの行動につなげる。

2-1. プログラム開発

■活動項目
◆新しい試みとして、個人で会員が地域の子どもたちにプログラムを行うことができるような仕組みをつくる
　2024 年度 9 月より計画、モデル実施を経て 2025 年度に本格始動を試みる
◆わくわくナビゲーターの「引き出し力」を強化する新講座をオンラインで開講
（対象：大人「すきなものビンゴ＆お仕事マップ®」わくわくナビゲーター養成講座の「引き出し」講座修了者）
◆「わくわくエンジン®」の発見後の活用方法についてノウハウ化
（対象：大人「わくわくエンジン®活用倶楽部」、オンライン実施）
◆「わくわくエンジン®」の発見後に一歩踏み出すことを応援するためのプログラムをシナリオ化
（対象：子ども＆大人「やってみたいをやってみる！」、リアル対面実施）

2-2. 品質管理

■活動項目
◆認定委員会の開催と認定
◆「ジュニアわくナビ」、「すきなものビンゴ」のみのわくわくナビゲーターの認定についての検討
◆企業社員や地域サポーターの研修の質の管理

2-3. プログラムのわくわくナビゲーター養成講座・研修

■活動項目
◆わくわくナビゲーター養成講座の開催：首都圏<対面リアル>
・トレーニング 1「体験」5 回：5 月 18 日、9 月 11 日、9 月 28 日、11 月 9 日、2 月 15 日
・トレーニング 2「引き出し」5 回：5 月 18 日、9 月 11 日、9 月 28 日、11 月 9 日、2 月 15 日
・トレーニング 3「メイン」3 回：5 月 19 日、9 月 29 日、2 月 16 日
◆わくわくナビゲーター養成講座の開催：地域<対面リアル>
◆オンラインわくナビ育成コースの開催 1 回：5 月 12 日～7 月中旬まで

2-4. プログラムのわくわくナビゲーターを養成する講師の育成

■活動項目
◆プログラムを深く理解し伝えることのできる講師育成
◆プログラムの深い理解者としての 1 級認定者の育成

2-5. パートナーとの連携

■活動項目
パートナーの事業形態に合わせたあり方を相談しながら進めるヒアリングとフォローアップ（オンライン＆リアルで 3 か月に 1 回程度）。内容と料金をリニューアルしたパートナーシップ提携の効果検証を行う。
・認定 NPO 法人くさつ未来プロジェクト
・株式会社感性労働研究所
・NPO 法人 MSP チャイルドドリーム基金
・一般社団法人未来のわくわく研究所
・社会福祉法人生活クラブ千葉

3． 子ども・若者の居場所づくり事業

収益 18,605　費用 18,522（事業 12,052　管理 6,470）（単位：千円）

■24 年度のテーマ
学校外の学びの場において、「わくわくエンジン®」をベースに、子どもが自分軸をもって進路選択する力をつける

■24 年度の目標
学習に限らず、就労支援の一環として地域の循環を生み出す

3-1. 学習支援・居場所づくり事業（中原わくわく学習会・通称「なかわく」）（川崎市委託事業）

■活動項目
◆「学習支援・居場所づくり事業」として川崎市より受託している「中原わくわく学習会」を継続する
・一人ひとりに寄り添った丁寧な学習サポートを継続する
・リアル対面とオンライン学習の二本立てで行うことを継続する
・学習内容は、学校教育における学習にとどまらず、学校ではできない、「わくわくエンジン®」の発見、お金の教育、個々の要望に合わせた経験など多岐にわたる
・新城教室 88 回、小杉教室 88 回、二か所において合計年間 176 回開室

◆学習会の卒業生が「学習サポーター」になったり、就労支援としての機能も一部において果たすチャレンジを行うことで、地域において教育の機能と居場所の機能に就労支援機能を加える。子どもの成長に合わせて川崎市中原区地域において循環するモデルをつくる。

3-2. 学習支援・居場所づくり事業（小杉わくわく学習会・通称「こすわく」）（自主事業@川崎市）

■活動項目
◆「小杉わくわく学習会」を維持継続する
・通常開室 46 回/年、不登校対策 98 回開室/年　予定
・経済的困難があったり、家庭環境に問題があったり、学校に足が向かない子どもの学習と居場所としての機能を維持継続する
・一人ひとりに寄り添った応援を継続する
・助成金と寄付で運営する

3-3. 寺子屋（川崎市委託事業）

■活動項目
◆川崎市からの委託事業「寺子屋今井」の体験活動を継続する
・全 7 回/年（場所：川崎市立今井小学校体育館）
・「グレイッシュとモモ」上演　など

４．教育に関する広報・調査研究・普及啓発事業

収益 709　費用 706（事業 459　管理 247）（単位：千円）

■24 年度のテーマ
共感し、自分事として考える大人を増やす

■24 年度の目標
・家庭、学校、社会教育の現場において、自分らしい生き方を考える講演やセミナー等の機会をつくる
・共感しやすい変化変容の事例を拾いあげる

4-1. 講演/セミナー/研修

■活動項目
◆多様な人々に「わくわくエンジン®」を軸とした考え方・生き方を伝え、共感者のすそ野を広げる
（生きづらさを抱える親子、PTA、フリースクール、通信制の学校、教員向け、子ども食堂、働く女性、育休中の女性など）

4-2. 企業や地域のネットワークづくり

■活動項目
◆企業や諸団体とのネットワークを広げ協力者を増やす
◆地域のステークホルダーとの協力関係を構築する
◆共感者や寄付者、法人会員を増やす

4-3. 広報

■活動項目
◆「わくわくエンジン®図鑑」の登場人物を増やす
◆プロジェクトマネージャー、活動者、参加者による SNS 発信を促進する
◆「おもしろい仕事人がやってくる！」の講演録画を YouTube で公開する
◆「わくわくエンジン®EXPO」を開催する（川崎、関西）
◆外部向け活動説明会を開催する（毎月 1 回）
◆会員向け「キーパーソン 21 の日！」での情報交換・相互交流

（２）その他目的達成に必要な事業

特になし

【管理部門】

（1）会員活動推進

■24 年度のテーマ
会員相互のコミュニケーションの活性と活動の推進

■24 年度の目標
・会員一人ひとりが力を発揮できるように、会員同士が活動の情報を共有し、触発し合い、助け合い交流する場をつくる
・会員一人ひとりの思いや「やりたい」を活動へ繋げる

■活動項目
◆全国会員がオンライン上で交流したり情報交換できる透明性の高い場をつくる
◆わくわくナビゲーターのスキル向上のための学びの場をつくる
◆全国会員リアル交流会第二回の開催準備を行う
◆新入会員とのコミュニケーションを充実させる
◆「会員活動すごろく」を作成し会員活動のイメージを可視化する
◆「キーパーソン２１の日！」における新入会員の紹介を継続する
◆「キーパーソン２１の日！」の内容は、会員が活動しやすくなるような学びの場となる内容を増やす
◆「キーパーソン 21 の日！」などで、会員同士で、共感しやすい変化変容の事例を伝え合う機会をつくる
◆アイデア会議の運営チームの活動を継続し、会員のアイデアを実現できるよう取り組む

（2）組織基盤

■24 年度のテーマ
感謝と応援のコミュニケーションを増やし、一人ひとりがやりがいを実感する NPO になる

■24 年度の目標
・制度やルールのスムーズな運用により、活動が進めやすくなることを目指す

1. 総務

■活動項目
◆グッドガバナンス認証基準に基づいた組織運営
◆購入規定/予算管理/電子文書を含む情報管理等の必要な規定やルールの整備
◆会員規約/倫理綱領/行動指針に基づいた会員活動の周知
◆各種コミュニケーションツールのアカウント管理、権限および運用ルールの明文化と管理体制の改善

2. 人事・労務

■活動項目
◆予算立案・業務配分の仕組みを活動の変化に合わせて再整備
◆サントリーホールディングス株式会社より出向者 1 名を 2 年間受け入れ

3. 財務・経理

■活動項目
◆定款に合わせた勘定科目を管理
◆月次で予算と実績の確認継続
◆地域チームにおける会計記録の明瞭化
◆新規事業開始時、事業部門設定の明確化
◆インボイス対応の継続
◆電子帳簿保存法への対応
◆寄付の拡大
◆川崎市ふるさと納税の活用検討

※「わくわくエンジン」、「すきなものビンゴ＆お仕事マップ」は、特定非営利活動法人キーパーソン 21 の登録商標です。